

ブドウの凍寒害防止のための短梢剪定法

園試大迫試験地

1、背景とねらい

短梢剪定は本県で主流の剪定方法であるが、積雪前の11～12月に行うのが一般化している。これは、積雪による棚の崩壊が心配なこと、他の仕事とのかねあいがあること、などが理由としてあげられる。しかし、厳寒に遭遇すると腕枝の枯れ込みや翌春の発芽不良などにより、結実確保が不安定となる事例がしばしばみられる。

そこで、これら被害を軽減するため、剪定方法・時期等について検討した結果、一応の知見を得たので指導上の参考に供する。

2、技術内容

- 1) 剪定は積雪前12月頃に4芽残しで剪除し、春(3月頃)に2芽残しに仕上げる。
- 2) 12月の剪定は、主枝先端、返し枝を除いて、4芽以上残せばよいので、あらかじめ枝長の見当をつけておき、機械的に剪定すると能率的である。

3、指導上の留意点

- 1) 生育期が天候不順な年は、貯蔵養分が少なく枝の充実も悪いので、凍寒害を受けやすくなるが、このような場合にも適用できる。
- 2) 過着果や遅取りも凍寒害を助長するので、適正着果、適期収穫など適正な栽培管理に努める。
- 3) 樹勢を維持し、安定生産を図るため、春の仕上げ剪定(2芽残し)は必ず行う。
- 4) 12月にあらかじめ剪定しておくので、春の仕上げ剪定は短時間でできる。したがって、合計作業時間は1回剪定に比べてそれほど多くを要さない。

4、当該事項に係る試験研究課題

適地条件の解明と産地育成

5、参考文献・資料(省略)

6、試験成績の概要

1) 試験方法

(1) 試験場所 一戸町小鳥谷 (2) 品種 キャンベルアーリー(短梢剪定)

(3) 処理内容

- ①二度切り剪定：12月に4芽残しで剪定、3月に2芽に仕上げ。
- ②慣行+初冬ハウダ：慣行剪定(12月に2芽残しで剪定)+ホワイトンパウダー(3倍液)散布。
- ③慣行+ペフランペースト：慣行剪定+ペフランペースト塗布。
- ④春剪定：翌春3月に2芽残しで剪定。
- ⑤慣行剪定：12月に2芽残しで剪定。

2) 具体的データ

表1、昭和62年度における試験結果

区名	3.3㎡当り		不発芽率 (%)	梢長 (cm)	節数	登熟長 (cm)	登熟率 (%)
	総芽数	不発芽数					
①二度切り剪定	26.0	3.3	12.8	127.5	22.4	68.9	54.0
②慣行+初刈ハクダ	18.0	1.3	7.4	129.7	22.8	78.2	60.3
③慣行+ハクダハート	17.6	2.0	11.3	117.3	23.5	74.2	63.3
④春剪定	21.0	1.7	7.9	117.5	23.4	58.5	49.8
⑤慣行剪定	26.7	1.7	6.3	133.0	24.6	46.3	34.8

表2、昭和63年度における試験結果

区名	3.3㎡当り		不発芽率 (%)	梢長 (cm)	節数	登熟長 (cm)	登熟率 (%)
	総芽数	不発芽数					
①二度切り剪定	49	9	18.4	153.7	18.9	94.5	61.5
②慣行+初刈ハクダ	37	13	35.1	128.6	21.2	83.6	65.0
③慣行+ハクダハート	51	12	23.5	152.5	23.0	79.1	51.9
④春剪定	58	7	12.1	170.2	24.8	83.6	49.1
⑤慣行剪定	78	22	28.2	126.6	17.5	58.9	46.5

昭和62年は暖冬であったことから、剪定方法・時期等による差は認められなかったが、2月の寒さが厳しく経過した昭和63年においては、二度切り剪定及び春剪定が慣行剪定に優った。

表3、試験実施年冬期間(1~3月)の旬別気温(二戸市) (℃)

項目	月旬	1月			2月			3月			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	
昭和62年	最高	観測値	0.1	-0.0	1.2	2.5	1.0	2.8	3.0	5.0	8.6
		偏差	-2.0	-1.6	-0.3	0.5	-1.6	-0.7	-1.5	-1.1	0.0
	最低	観測値	-7.3	-6.6	-6.4	-5.1	-6.4	-5.2	-4.5	-2.6	-0.9
		偏差	-1.0	0.1	0.4	1.7	-0.2	0.3	0.2	0.6	0.4
	平均	観測値	-3.6	-3.3	-2.6	-1.4	-2.7	-1.2	-0.7	1.2	3.9
		偏差	-1.5	-0.8	0.1	1.1	-0.9	-0.2	-0.6	-0.2	0.2
昭和63年	最高	観測値	1.6	3.0	1.1	-1.0	-1.6	1.1	2.0	7.7	6.4
		偏差	-0.5	1.4	-0.4	-2.9	-4.1	-2.4	-2.4	1.6	-2.2
	最低	観測値	-5.2	-3.2	-4.6	-7.8	-10.0	-6.9	-5.7	-1.5	-2.5
		偏差	1.0	3.4	2.3	-1.0	-3.8	-1.4	-1.0	1.7	-1.2
	平均	観測値	-1.8	-0.1	-1.7	-4.4	-5.8	-2.9	-1.8	3.1	2.0
		偏差	0.3	2.4	0.9	-2.0	-4.0	-1.9	-1.7	1.6	-1.7